

日本色彩学会活動功労賞

日本色彩学会活動功労賞を受賞して
—馬場先生・吉田先生の思い出と共に—Greeting of receiving the CSAJ Activity Contribution Award
—With the memories of Baba sensei and Yoshida sensei—大住 雅之
Masayuki Osumi株式会社オフィス・カラーサイエンス
Office Color Science Co., LTD.

私が測色研究会に関わったのは、今から30年以上も前になる。測色研究会はもともと、馬場護郎先生と吉田豊彦先生のお二人によって設立、開始された。当時、馬場先生は日本色彩学会側の主査、吉田先生は色材協会側の主査という事で、二つの学協会が相互に協力しあう形でスタートした。活動の内容は、講演会形式のもので、大抵は馬場先生ご自身が、色々な測色に関わる喫緊のテーマに基づいてお話しされることが多く、先生ご自身が色々な学協会に所属され、あるいはインターナショナルに規格関係の機関の委員をされていたので、国際的で且つ縦横無尽なお話を頂戴する事ができた。測色研究会の活動は、当学会の活動に留まらず、規格という軸を通して、色々な関係機関との連携活動が多かったように思う。

その後、両先生もご高齢となり、一時的に休会状態となったが、それぞれの主査を、私と武井昇先生で引継ぎ、活動を再開する運びとなった。その当初、学会内では研究会活動の見直し時期で、研究発表会を実施する研究会と、講演会などを主体とする研究会で呼称を分ける議論があった。馬場先生にご相談したところ、講演会を主体とする活動でどうかと勧められたが、私は再開するにあたり、思い切って発表会を行う活動方針に舵を切った。最初の2年間は講演会活動に留めたが、準備を進め、2012年度からは発表会を実施した。最初の記念すべき研究会には8件の発表エントリーがあり、測定解析、色差、質感の3つのセッションを構成し、更にパネルディスカッションを加えた、充実した内容となった。その後は毎年欠かさず、発表会の開催を重ねている。そして馬場先生には、パネリストとして参加して頂いたり、あるいは研究会に参加され、発表の都度、ご質問や貴重なコメントを頂戴したりと、手厚いご支援を頂いた。馬場先生も吉田先生も、ご両名は測色研究会には無くてはならない礎のような方達で、お亡くなりになった年には、必ず感謝の意とお二人の業績を辿れるよう、追悼企画を行った。

さて、振り返って私自身であるが、業績も実力も到底お二人には遠く及ばず、その為に等身大で“出来る事”の工夫を施し、研究会を活性化することに挑戦し

た。2011年度の講演会では、海外の演者だったので、後に理解の誤解が無いように、講演内容全てをテープ起こしして和訳、講演スライドを含めてPDF化して、参加者に配布したのが最初の工夫である。また、全国大会や秋の大会(研究会大会)が開催される度に、多くの機会でごチュートリアルも実施した。結構、大掛かりなもので、積分球やマルチアングルの測色機、そして分光イメージング装置等、多くの都合のつく機材を運び込んで、測色の魅力や素晴らしさを伝えてきた。これは日本色彩学会の大会に限らず、多くの機会でご実施した。思い出深いものの一つに、名城大学にて開催されたACA2019がある。川澄先生からのご依頼であったが、国際大会であったので失敗の無いように入念な準備を行ない、分光イメージング装置については、計測や可搬しやすいように筐体を工夫した。そしてこの時は、特にお手伝い頂いた学生にとって貴重な体験になる事を念頭に、チュートリアルの構成や資料の準備、説明や操作方法の手ほどきをした事を記憶している。この時の装置の工夫は、今でも同様のチュートリアルを行うときに大変役に立っている。その他にも、会員サービスの一環としてCRAに掲載された測色関係の論文を、西先生に紹介して頂いたりもした。

このような実績を積み上げた結果、今日の測色研究会があるが、研究会は主査だけでなく、特に事務局や幹事メンバーの役割が大きい。中でも事務局では、現在、村上色彩技術研究所の社長になられた鈴木健一さんの長年にわたるサポートが有難い。ご本人は大変控えめな性格で、あまり表に立つことはなかったが、細かく行き届いた配慮を、今でも多く記憶している。事務局を引き継いで頂いたNTTの土田さんにも、多くの支援を過去に頂いた。2010年の最初の測色研究会の再開時に、ご講演頂いたのは土田さんであり、また研究発表会でも多く、ご登壇頂いている。今後は、西先生を主査として、益々、測色研究会を活性化して頂ければ幸いである。そして研究会は研究発表が要である。私は今後、一会員に立ち返り、研究発表という点で、支援を続けていきたい。今回の受賞に際し、振り返りを述べ、謝意と致します。